

トリシマは、三菱重工から CO2 分離回収プロセス向けポンプに関する技術支援を受ける契約を締結しました

カーボンニュートラル社会の実現には、二酸化炭素(CO2)を分離回収して貯蔵する(CCS)、あるいは有効利用する(CCU)技術の推進が不可欠となります。

CO2 の 分離回収プロセスとしては現在、吸収液プロセス、固体吸着プロセスや膜分離プロセスなどが開発されていますが、なかでも吸収液プロセスが、化学産業のガス処理技術として長い歴史を有し、かつ大容量化に適していることから今後世界中のプラントでの採用が見込まれています。ここでキーとなるのが、高圧ポンプの大容量化です。

トリシマは、海水淡水化プラントや長距離送水ポンプ分野で、既に毎時 6,500 トンを超える大容量で世界最高効率の高圧ポンプを多数納入する世界トップポンプメーカー。

三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）は、1990 年より長年にわたって中近東、北アフリカ、東南アジア、インド等に、吸収液プロセスにポンプを供給してきており、豊富な実績や技術知見を有する世界的なメーカーです。

このたび、トリシマは三菱重工より、これら吸収液プロセスにかかるメインのポンプとして、吸収液を昇圧するセミリーンポンプと CO2 分離時の動力回収タービンにかかる設計や製造時のノウハウと技術支援を受ける技術支援契約を締結しました。

トリシマは、三菱重工の吸収液プロセスポンプ技術を、トリシマの大容量高圧遠心ポンプの技術と融合させることにより、大容量化する世界の CO2 分離回収市場に高効率のポンプを供給することで、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

省エネ、省資源、カーボンニュートラルを実現するポンプおよび関連装置の供給を成長の柱と位置づけ、高効率ポンプ、液化水素・アンモニアなど代替エネルギー大容量高圧ポンプを提供する環境貢献企業をめざし、積極的に経営資源を投入しています。今後もイノベーションな技術と製品の開発を進め、社会に欠かせない企業をめざしていきます。

(参考) カーボンニュートラル関連開示情報

- ・[「液化水素ポンプの開発」オンライン記者発表会を開催（収録動画公開）](#) (2024.04.12)
- ・[世界初！ 大流量の液化水素ポンプ運転試験に成功！](#) (2024.03.14)
- ・[トリシマと HERMETIC との共同セミナー「トリシマ脱炭素社会への挑戦」を開催](#) (2023.11.15)
- ・[新製品 スーパーエコポンプ](#) (2023.10.02)
- ・[「大流量・高圧・高効率な液化水素昇圧ポンプの開発」における実施体制の決定について](#) (2023.09.21)
- ・[ドイツ HERMETIC 社との業務提携に関するお知らせ](#) (2023.08.31)
- ・[大流量・高圧・高効率な液化水素昇圧ポンプの開発について](#) (2023.06.09)

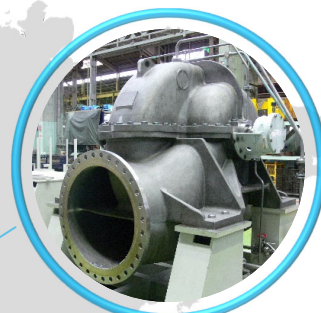
流量1,000m³/h・全揚程300m以上

トリシマ大流量・高揚程ポンプを

1,200台納入

最大スペック

流 量 6,500m³/h
全 揚 程 800m
電動機容量 11,000kW



サウジアラビア

海水淡水化プラント向け
送水ポンプ（口径900×800mm）
ポンプ型式：CDM

東南アジア

60台

オセアニア
南北アメリカ

40台

北アフリカ

150台

中東

950台

オマーン

海水淡水化プラント向け
RO高圧海水供給ポンプ
ポンプ型式：MHH

受注年：2005年～2024年

トリシマ大流量・高揚程ポンプとセミリーンポンプレンジ

